

可搬通信装置を使ったインテリジェントな移動スタッフ管理

原題: *Intelligente Disposition unter Einsatz mobiler Kommunikations geräte*

著者・所属: Christian Neumann; 営業, CN-Consult GmbH, Daniel Haas; Diloc 生産課長, CN-Consult GmbH, ドイツ
 誌名: Eisenbahningenieur Vol.61 No.8 (2010-8) p50-52
 言語: 独語 原文中図: 2 表: 0

最近のハード、ソフトウェアを使って、移動しているスタッフと管理者の間のペーパーレスな情報リンクが構成できる。これはハンディな標準 OS (例えば Windows または Linux) や UMTS を搭載した netbook を使うと最も上手くできる。Diloc/Sync のようなソフトと組み合わせて、指令センタと可搬スタッフは安全なインターネット結合を通じて利用できるデータによって同調される。従って、列車運転士には常にリアルタイムで更新された必要な情報、例えば、勤務名簿、指示、速度制限が提供される。同時に彼らは文書管理の調整業務から解放される。この種の通信プラットフォームは付加効率を高める可搬応用装置の基礎を構成する。

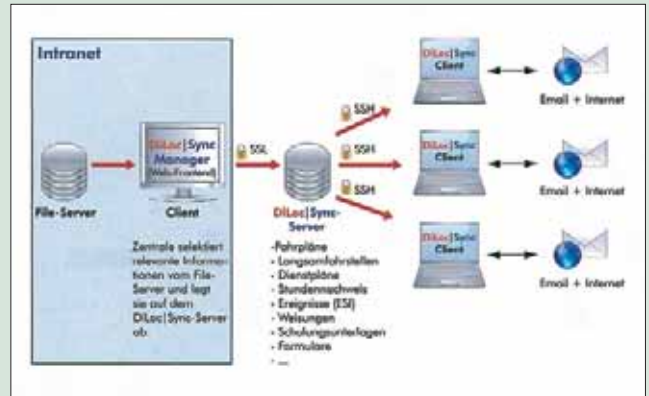


図1 Diloc/Sync のアーキテクチャー

出典: EI

鉄道車両用の新しい通信アーキテクチャー

原題: *Neue Kommunikationsarchitektur für Eisenbahnfahrzeuge*

著者・所属: Oliver Kirsch; 鉄道技術の産業課長, PhoenixContact GmbH, Andreas Henschel; 車両調達品質管理, DB AG, ドイツ
 誌名: Eisenbahningenieur Vol.61 No.8 (2010-8) p53-55
 言語: 独語 原文中図: 4 表: 0

多くの他の分野と同様に、Ethernet 通信プロトコルは鉄道産業の膨大な仕事に将来取り入れられるだろう。とりわけ、これらには設備された装置の統合、旅客情報、娯楽システムが列車制御ソリューションに含まれる。このような背景に対して制御システムは性能、柔軟性、モジュール化といった観点で高い要求にマッチする必要がある。そのインラ

インコントローラとともに PhoenixContact は幾多のアプリでその価値が確かめられている SPS (蓄積プログラム制御) を提供している。例えば31の軌道作業車、高所作業車に EN50155 に準拠した運転状況モニタシステムを搭載している。GSM/GPRS モデムを統合した SPS では制御センタから遠隔モニタすることができる。



図1 Cometi Mecnans - 作業車両 CMT160I-G の運転台の様子

出典: EI



図3 PLC - REL 系リレーへの、適応モジュール上のインラインステーションの結線

出典: EI